

<議題>

1. 大会救護（安全対策）…JTU 救護運営指針の再検討（資料 2）
  - ✓ 距離・カテゴリー・種類（トライアスロン・デュアスロン・アケスロン）毎の基準が必要
    - 医療スタッフ数（医師・看護師・トレーナーなど）
    - 医療資材数・種類
    - 救護所での医療行為範囲…診療所届の有無・ドーピングとの関連
    - 救急車待機…地域医療との調整
    - その他（メディカルとエイドなど各部門との連携、運営面へのリクエスト）
      - ◇ 各大会の現状について、情報提供が必要
2. 競技中の傷害
  - ✓ 重症事例の検証
    - 各大会からの情報提供と一元化による、再発予防への取り組み
  - ✓ 傷害・疾病発生率の検証（資料 3）
    - 共通の評価基準（athlete-exposures または player-hours）導入による、カテゴリー・大会などリスクファクターの把握
3. 選手への啓発活動
  - ✓ 熱中症予防（資料 4）
  - ✓ ドーピング
  - ✓ その他
4. 競技力向上関連
  - ✓ パフォーマンス向上に関する各種取り組みと効果の検証
  - ✓ その他
5. 他専門委員会事業との連携
  - ✓ 技術
  - ✓ 普及
  - ✓ 強化
  - ✓ その他
6. その他
  - ✓ 世界選手権シリーズ横浜大会、日本トライアスロン選手権救護

<資料>

- 資料 1. JTU メディカル委員会提案事項 2011-2012 年度活動指針
- 資料 2. JTU 運営規則第 1 9 章医療救護指針
- 資料 3. 2010 年度 J T U 近畿ブロックメディカル委員会報告書
- 資料 4. 長良川国際トライアスロン大会参加選手用熱中症対策